

平成25年度北海道文化財年報



道指定有形文化財（考古資料）
入江貝塚出土品
（平成25年度指定）

平成26年10月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を多くの人々が共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、「旧開拓使工業局庁舎」など、新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業、北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

この年報をご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化財・博物館課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/index.htm>

【表紙の写真】(洞爺湖町教育委員会提供)

○道指定有形文化財「入江貝塚出土品」(考古資料)について

出土品は、入江貝塚出土の縄文時代の骨角牙貝製品であり、その内訳は、銚先・釣針などの漁撈具のほか、猪牙製や南海産貝製の装飾品など、道内でも出土例が少ないものもあります。これらは、北海道における先史時代の狩猟・漁撈活動や装身文化など、その生活実態を具体的に知ることができる資料であり、学術的な価値が極めて高い資料であることから、出土品を平成26年3月31日付けで、道指定有形文化財(考古資料)に指定しました。

目 次

I	平成25年度文化財保護の主なあゆみ	P 1
1	新たに指定・登録された文化財	P 2
(1)	国指定文化財	P 3
(2)	道指定文化財	P 11
(3)	国登録文化財	P 12
2	世界遺産登録を目指して	P 15
(1)	世界遺産登録に向けた体制と事業について	
(2)	4道県共通ホームページの作成について	P 16
(3)	北海道の独自事業について	
(4)	「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について	P 17
3	文化財保護強調月間について	P 18
4	アイヌ民俗文化財の保存・伝承	P 21
(1)	アイヌ民俗文化財調査	
(2)	アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業	
5	指定文化財の保存整備(国庫補助事業)	P 22
(1)	重要文化財	
(2)	選定	P 24
(3)	史跡・名勝	P 25
6	埋蔵文化財保護のための事前協議	P 27
7	埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)	P 29
8	発掘調査	P 31
II	資料編	P 32
1	文化財	
(1)	文化財の指定状況(国指定・道指定)	
(2)	国指定文化財一覧	P 33
(3)	道指定文化財一覧	P 39
(4)	管内別市町村指定文化財一覧	P 45
(5)	管内別登録文化財	
(6)	登録文化財一覧	P 46
(7)	平成25年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧	P 50
(8)	平成25年度文化財パトロール	P 55
(9)	平成25年度史勝跡名天然記念物の現状変更等許可件数	
(10)	平成25年度銃砲刀剣類の登録状況	

2	埋蔵文化財	P 56
	(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧	
	(2) 平成 25 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と 北海道実施の所在・試掘調査一覧	P 57
	(3) 平成 25 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧	
	(4) 平成 25 年度管内別発掘調査一覧	
	(5) 平成 25 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数	P 58
	(6) 平成 25 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等	
	(7) 平成 25 年度出土文化財認定件数と出土遺物量	
	(8) 平成 25 年度出土文化財譲与件数	
3	その他	P 59
	(1) 北海道教育推進計画	
	(2) 平成 25 年度北海道文化財保護審議会	P 60
	(3) 北海道文化財保護審議委員一覧	
	(4) 平成 25 年度銃砲刀剣類登録審査会	P 61
	(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員	
	(6) 北海道立埋蔵文化財センター	
	(7) 文化財情報の発信	P 63
	(8) 文化財関係機関・団体リンク	P 64

I 平成25年度文化財保護の主なあゆみ

○ 新指定(追加指定含む)の文化財

礼文町の「礼文町船泊遺跡出土品」が重要文化財(考古資料)、北海道開拓の村内の「旧開拓使工業局庁舎」が重要文化財(建造物)に指定されました。伊達市北黄金町にある史跡「北黄金貝塚」の北側台地、松前町・厚沢部町にある「松前氏城跡福山城跡館城跡」の幕末の福山城築城にあたって石垣石を切り出した石切場跡が追加指定され、また、新冠町と平取町の境界にある「幌尻岳」、平取町の「オキクルミのチャシ及びムイノカ」が名勝ピリカノカに追加指定されました。道指定では、洞爺湖町の「入江貝塚出土品」が道の有形文化財(考古資料)に指定されました。その他、国の登録文化財として4件が登録されました。

○ 世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県などが共同提案した「北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群」が、平成21年1月5日にユネスコの世界遺産暫定リストに記載されました。4道県と関係14市町は、世界遺産登録をめざし、推薦書案の作成や登録推進のための情報発信などを実施しました。

○ 北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度に毎年10月8日～11月7日を北海道文化財保護強調月間に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成25年度は期間中に、71市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど191の事業が実施され、多くの方が参加しました。

○ アイヌ民俗文化財の保存・伝承把握

金成(かんなり)マツノートの整理・翻訳やアイヌ文化財専門職員等研修会を実施しました。

○ 文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を14件実施しました。

○ 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、開発事業に伴う147件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は85件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

1 新たに指定・登録された文化財

国の関係では、重要文化財（歴史資料）が1件、重要文化財（建造物）が1件、史跡の追加指定が2件、名勝の追加指定が2件、登録有形文化財（建造物）の登録が4件あり、道の関係では有形文化財（考古資料）の指定が1件あります。

(1) 国指定文化財

- 重要文化財（考古資料）
「礼文町船泊遺跡出土品」（平成25年6月19日付）
- 重要文化財（建造物）
「旧開拓使工業局庁舎」（平成25年8月7日付）
- 史跡〔追加指定〕
伊達市「北黄金貝塚」（平成25年10月17日付）
松前町・厚沢部町「松前氏城跡 福山城跡 館城跡」（平成25年10月17日付）
- 名勝「ピリカノカ」〔追加指定〕
 - ① 新冠町・平取町「幌尻岳（ポロシリ）」（平成25年10月17日付）
 - ② 平取町「オキクルミのチャシ及びムイノカ」（平成26年3月18日付）

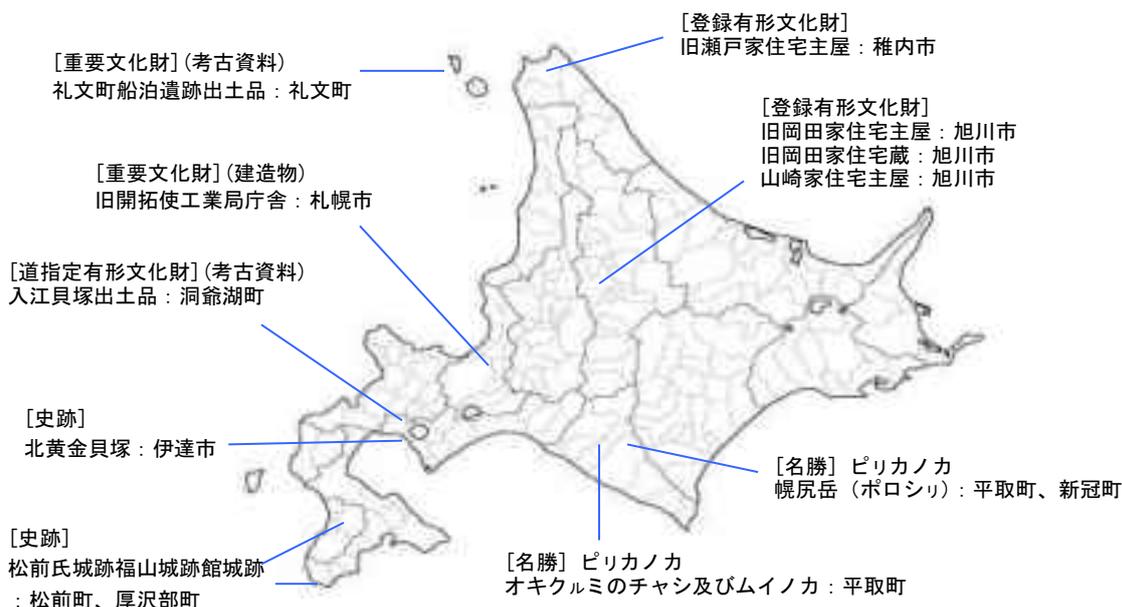
(2) 道指定文化財

- 道指定有形文化財(考古資料)
洞爺湖町「入江貝塚出土品」（平成26年3月31日付）

(3) 国登録文化財

- 登録有形文化財（建造物） ※平成25年6月21日付
 - ① 旭川市「旧岡田家住宅主屋」
 - ② 旭川市「旧岡田家住宅蔵」
 - ③ 旭川市「山崎家住宅主屋」
 - ④ 稚内市「旧瀬戸家住宅主屋」

新指定・登録文化財の位置



(1) 国指定文化財

● 重要文化財（考古資料）

「礼文町船泊遺跡出土品」（れぶんちょうふなごまりいせきしゅつどひん）

【所在地】 礼文郡礼文町大字香深村字トンナイ 558-5

【員数】 一括（1,616点）

【解説】 礼文島に所在する縄文時代後期中葉の集落跡と集団墓地及び作業場跡等から出土した、副葬品の一括です。

貝製品には、地元産のビノスガイで作られた多量の平玉に加え、房総半島以南に生ずるタカラガイなど、遠隔地から搬入された貝類を素材とした装身具が含まれています。

これらは、当時の広域な物資交易の実態をよく示す、貴重な資料です。

【問い合わせ先】 礼文町郷土資料館 電話 0163-86-2119

ホームページ：reikyoi@educet.plala.or.jp



● 重要文化財（建造物）

「旧開拓使工業局庁舎」（きゅうかいたくしこうぎょうきょくちょうしゃ）

【所在地】 札幌市厚別区厚別町小野幌（北海道開拓の村内）

【員 数】 1 棟

【解 説】 本建物は、札幌市東郊の野幌森林公園内の北海道開拓の村に所在し、建築面積は 178.48 m²。構造は木造 2 階建、寄棟造こけら葺で、正面に切妻屋根の玄関ポーチがあり、通り抜きの玄関ホール兼階段室をもつ平面構成や屋根の棟飾り、ポーチの破風飾り、軒下の持送りなど、工業局営繕課が米国建築書を参照し、洋風建築を習得したことが確認できる建物です。

本建物は、明治初期の北海道開拓を支えた工業局工作場の現存唯一の遺構であるとともに、米国建築雛形書を利用しながら寒冷地建築を模索した工業局営繕課の設計業務の実態を示すものとして、歴史的価値も高く評価されています。

【問い合わせ先】 北海道開拓の村 電話 011-898-2692

ホームページ：<http://www.kaitaku.or.jp>



● 史跡〔追加指定〕

「北黄金貝塚」(きたこがねかいづか)

【指定内容】 面積 56,030.14 m²の指定地追加

【所在地】 伊達市北黄金町 75 番 1 ほか

【解説】 北海道の内浦湾貝塚群を代表する縄文時代前期を中心とする大規模な貝であり、当時の人々の人類学的形質や葬制、生業・生活を明らかにする上で重要であることから、新たに北地点の貝塚と周辺部を追加して指定し、遺跡全体の保存を図ろうとするものです。

【問い合わせ先】 伊達市噴火湾文化研究所 電話 0142-21-5050

ホームページ: <http://www.funkawan.net/>



史跡北黄金貝塚 既指定地(青枠)と追加指定地(赤枠)の範囲

試掘調査の状況

確認された貝塚の断面

● 史跡〔追加指定〕

「松前氏城跡 福山城跡 館城跡」(まつまえししろあと ふくやまじょうあと たてじょうあと)

① 「福山城跡」に係る追加指定

【指定内容】 面積 19,353.32 m²の指定地追加

【所在地】 松前郡松前町(福山城跡)、檜山郡厚沢部町(館城跡)

【解説】 「神明石切り場跡」は、幕末の福山城築城にあたって石垣石を切り出した生産遺跡です。平成17年に石垣遺構が発見されたことを機に、平成18年度から平成22年度まで、松前町教育委員会が範囲・内容確認調査を実施しました。その結果、幕末から近・現代にかけての石切り跡や、石材を運搬した石曳き道、番屋跡とみられる建物遺構が確認され、文献史料からは、福山城築城時の石垣石採掘及び運搬の状況などが判明しました。

このたび、「神明石切り場跡」の重要性が認められ、福山城跡館に追加指定されることになりました。

【問い合わせ先】 松前町教育委員会社会教育課 電話 0139-42-3060

ホームページ：<http://www.e-matsumae.com/>

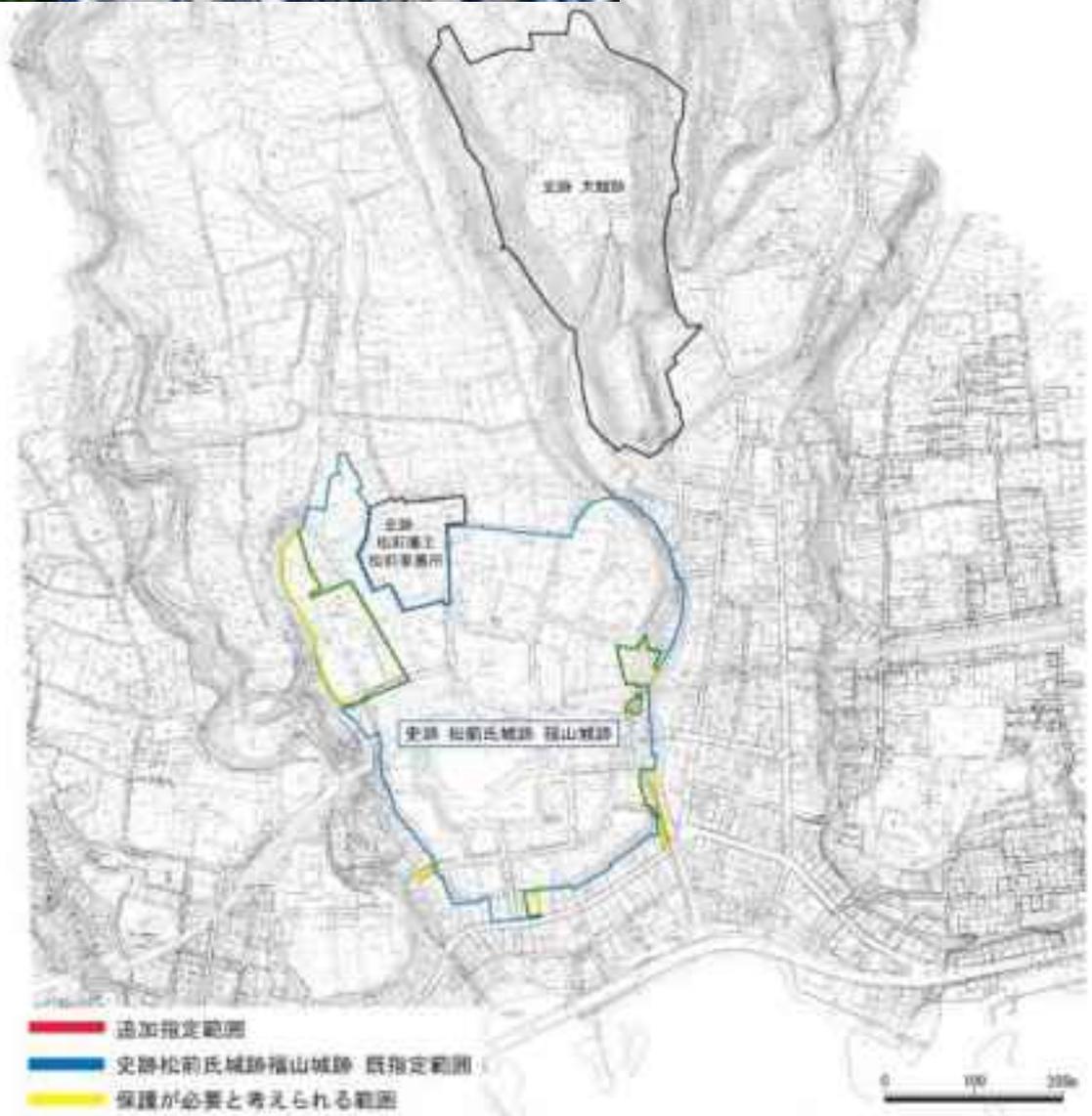
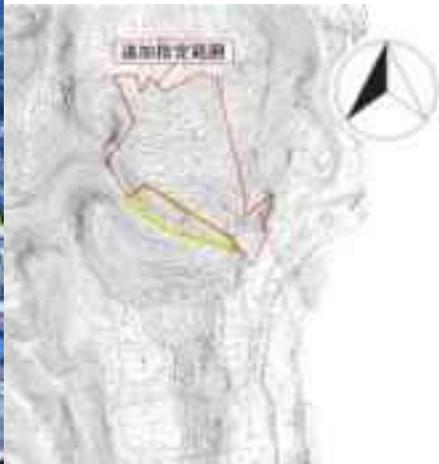
石垣遺構



緑色凝灰岩 (グリーンタフ)
※石垣として利用



幕末の石切り跡



史跡『松前氏城跡 福山城跡 館城跡』追加指定範囲 位置図

② 「館城跡」に係る追加指定

【追加内容】 面積 2,110.98 m²追加指定

【所在地】 檜山郡厚沢部町

【解説】 館城は、明治元（1868）年に福山城に代わる松前藩主の居城として構築されましたが、ほどなく旧幕府脱走軍の攻撃により落城、廃絶しました。

平成 17 年以降、厚沢部町教育委員会が指定地及び隣接地の発掘調査を行い、城の縄張り確認を進めた結果、今年度までに城の北西側外郭の柵跡・溝が未指定の土地に及んでいることを確認しましたので、当該区域を追加指定して郭内全体を保護しようとするものです。

【問い合わせ先】 厚沢部町教育委員会社会教育課 電話 01396-4-3311

ホームページ：<http://www.town.assabu.lg.jp/index.php>



追加指定地の調査状況



堀の確認状況



史跡 館城跡の既指定地（青枠）と追加指定地（赤枠）の範囲

● 名勝「ピリカノカ」〔追加指定〕

名勝「ピリカノカ」

九度山（クトゥンヌプリ） 黄金山（ピンネタイオルシペ）

神威岬（カムイエトウ） 襟裳岬（オンネエンルム） 瞰望岩（インカルシ）

カムイチャシ 絵鞆半島外海岸 十勝幌尻岳（ポロシリ）

名勝「ピリカノカ」について、次の2つの区域が指定景勝地として追加指定されました。

① 「幌尻岳（ポロシリ）」

【所在地】 平取町・新冠町

【解説】 北海道には、アイヌのユカラに語られた物語や伝承の舞台をはじめ、アイヌ語地名の景観を良く残す独特の地形など、文化財として保護すべき名勝地が数多く存在します。

これらの物語や地名に彩られた、良好な自然の風致景観を持つ優秀な景勝地を「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」と総称し、国指定の名勝地群として保護されています。

幌尻岳は、日高管内新冠町と平取町との境界にある標高2,053mの日高山脈最高となる山です。日高アイヌの大切なチノミシリ（我らの祈る場所）として、十勝アイヌのチノミシリである十勝幌尻岳とともに古くから崇められてきました。

周辺には、氷河時代に形成されたカールと呼ばれる圏谷（けんこく）があり、特に「七つ沼カール」は日高山脈最大のカールであり、幌尻岳の絶景ポイントとなっています。

また、昆布が生え、海の生物が生息するという伝説も残されています。

ウスユキトウヒレン、ホソバイワベンケイなどの北海道固有の植物、ヒダカミネヤナギ、カムイビランジなどの日高山脈固有の植物が生息するほか、「ナキウサギ」の生息地ともなっています。

このような、アイヌの物語・伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地である「幌尻岳（ポロシリ）」が、「ピリカノカ」に追加指定されました。



新冠町から見た幌尻岳（左）



七つ沼カール

② 「オキクルミのチャシ及びムイノカ」

【所在地】 平取町

【解説】 オキクルミのチャシ及びムイノカは、沙流川支流の額平川流域にある天然林に覆われた岩山や崖面で、約 38 万㎡の土地です。

オキクルミのチャシ（居城）とは、額平川河口域左岸側から上流側に向かってデコボコに続く丘陵の端にある突き出た岩山です。アイヌ口承文芸に登場するオキクルミカムイが降臨した聖地として崇められて来ました。

同じ丘陵のやや額平川下流側には、半月状に欠けた崖面であるムイノカ（箕の形）が所在します。その箕はオキクルミの妻が天上に戻るときに置いていったものとの言い伝えがあります。

【問い合わせ先】 平取町教育委員会 電話01457-2-2892

ホームページ：<http://www.town.biratori.hokkaido.jp/>



オキクルミのチャシ
(中央のこぶ状に突き出た岩山)

ムイノカ
(山の中腹の半月状の割れ口)



(2) 道指定文化財

● 道指定有形文化財(考古資料)

「入江貝塚出土品」(いりえかいづかしゅつどひん)

【員 数】 骨角牙貝製品 134 点

【所 在 地】 虻田郡洞爺湖町高砂町 44 番地 (入江・高砂貝塚館)

【所 有 者】 洞爺湖町

【解 説】 入江貝塚は虻田郡洞爺湖町入江に所在する国指定の史跡であり、噴火湾に面する標高 10～20mの海岸段丘南端部に位置します。縄文時代前期末葉から晩期中葉(紀元前 3,500 年～800 年頃)にかけて形成された貝塚が確認されており、同じ段丘上にある高砂貝塚とともに噴火湾岸を代表する貝塚を伴う集落跡です。

出土品は、平成 5 年、旧虻田町教育委員会が町道 22 号線改良工事に伴い実施した発掘調査により発見されたものであり、狩猟・漁撈(ろう)活動の内容を具体的に示す骨角製の銚(もり)頭や釣針などの生産用具、加えて北海道に生息しないイノシシの牙や南海産のイモガイなどを素材とした装飾品など、当時の北海道、特に噴火湾岸における狩猟・漁撈(ろう)活動やそれを支えた精神文化の一端を示す装身文化などを具体的に知ることができる貴重な考古資料です。

【問い合わせ先】 入江・高砂貝塚館：(0142)76-5802

・ ホームページ <http://www.town.toyako.hokkaido.jp/iritaka/>



○生産用具



○装飾品

(洞爺湖町教育委員会提供)

(3) 国登録文化財

● 登録有形文化財（建造物）

① 登録有形文化財「旧岡田家住宅主屋」（きゅうおかだけじゅうたくしゅおく）

② 登録有形文化財「旧岡田家住宅蔵」（きゅうおかだけじゅうたくくら）

【年 代】 昭和8年

【所 在 地】 旭川市5条通16丁目1099番地他

【解 説】 旭川市街に建つ酒造家の本邸。主屋は木造二階建てで北から西に敷地を囲み、入隅に四半円形の居間を設ける。外観は洋風であるが玄関ホールや応接室の他は数寄屋風の座敷とする。玄関のステンドグラス、西側階段室の縦長窓と階段などにアール・デコ風の意匠を凝らしています。また、鉄筋コンクリート造で堅牢な外観をもつ、主屋南端に接続する蔵も併せて登録されました。

【問い合わせ先】 旭川市教育委員会 社会教育部 文化振興課 電話：0166-25-7558
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/index.html>



旧岡田家住宅主屋



旧岡田家住宅主屋



旧岡田家住宅蔵

③ 登録有形文化財「山崎家住宅主屋」(やまざきけじゅうたくしゅおく)

【年 代】 昭和 12 年

【所 在 地】 旭川市曙 2 条 3 丁目 2399 番地他

【解 説】 木造二階建てで、西立面を玄関と二階の切妻屋根が引締め、外壁は色モルタル塗で腰は鎧下見板張です。1 階はペチカのある居間を中心とした平面で、南西に子供室、北に食堂と台所、東の寝室前の廊下が座敷に通じ、二階は書斎と事務室となっております。良材を用いた上質なつくりの近代住宅です。

【問い合わせ先】 旭川市教育委員会 社会教育部 文化振興課 電話：0166-25-7558
ホームページ <http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/bunkashinko/index.html>



山崎家住宅主屋



④ 登録有形文化財「旧瀬戸家住宅主屋」（きゅうせとけじゅうたくしゅおく）

【年 代】 昭和27年

【所 在 地】 稚内市中央4丁目1318番地2他

【解 説】 木造二階建てで、西正面に入母屋屋根を見せ、北半は上下階に切妻屋根を重ねる。南面東端から切妻屋根の客間が突出。外壁はモルタル塗り。玄関南の煉瓦造煙突が目目をひく。玄関北の応接室を別室とし、中廊下の南北に和室を配しています。造作の丁寧な事業家の建物です。

【問い合わせ先】 稚内市教育委員会 教育部 社会教育課 電話：0162-23-6161

ホームページ：

<http://www.city.wakkanai.hokkaido.jp/kyoiku/supotsushogaigakushu/bunkarekishi/>



旧瀬戸家住宅主屋



2 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されました。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、登録推進のための事業を継続しています。北海道教育委員会においても、知事部局と連携し、登録推進のための情報発信事業を行っています。

平成 25 年度については、政府が「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を推薦することとなり、「推進本部」として、当初目標としていた平成 25 年度のユネスコへの推薦は、見送られることとなりましたが、平成 26 年 2 月 28 日に、引き続き 4 道県 14 市町は、共同して「直近の機会での推薦」を目指すこととしております。

(1) 世界遺産登録に向けた体制と事業について

「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が世界遺産登録に向けて行う主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。この推薦書のもととなる「世界遺産登録推薦書原案」を平成 25 年 7 月 24 日に文化庁へ提出しましたが、8 月 23 日の文化審議会の特別委員会において、推薦を得ることはできませんでした。今後は、文化庁から示された諸課題について、国内外の専門家の助言を得ながら、推薦内容の精度を高め、文化庁との協議が整った段階で推薦書原案を改訂することとしております。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があります。また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれの事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 25 年度には臨時も含め推進会議を 4 回、専門家委員会を 2 回開催し、協議を進めました。

また、平成 26 年 1 月には東京都内、2 月には室蘭市内を会場として、4 道県共同で実施する「縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム」を開催しました。フォーラムでは、

人類史における縄文遺跡群の価値、北海道・北東北の縄文遺跡群の特徴などをテーマに講演・説明が行われ、多くの方に参加いただきました。

◆縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラムの開催

東京開催 <http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/culture/jomon-tokyoforum2013-2.html>



○縄文遺跡群世界遺産登録推進フォーラム（東京開催）の様子

(2) 4道県共通ホームページの作成について

平成25年8月30日に、世界遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」の普及啓発を目的に、4道県共通ホームページを開設しました。ホームページでは、推進本部の取組状況や関係自治体及び縄文遺跡群の情報を国内外へ向けて広く発信しています。

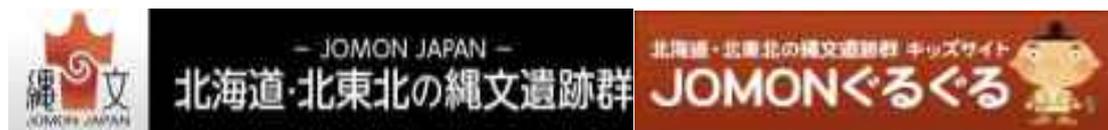
また、平成26年3月31日には、子どもたちに縄文遺跡群の魅力を紹介する北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMONぐるぐる」を開設しております。サイトでは、キャラクターの「もんぐる君」と犬の「ナワワ」が、18の縄文遺跡の情報や縄文時代に関するクイズなどを出題しており、縄文文化をわかりやすく伝える内容となっています。

◆「JOMON JAPAN 北海道・北東北の縄文遺跡群」公式ホームページ

<http://jomon-japan.jp/>

◆北海道・北東北の縄文遺跡群キッズサイト「JOMONぐるぐる」公式ホームページ

<http://jomon-japan.jp/kids/>



(3) 北海道の独自事業について

平成14年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成16年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事

業を青森・岩手・秋田の3県とともに進めてきました。

暫定一覧表への記載実現はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、平成23年度においては、世界遺産の登録を目指す取組を一元的に推進する組織として知事部局に「縄文世界遺産推進室」が設置され、北海道教育委員会と連携して、道内における気運の醸成を図るために道独自の事業を行っております。10月には「北の縄文・パネル展2013」、2月には「北の縄文フォーラム2014」をいずれも札幌市で開催しました。

これらの登録推進事業については縄文世界遺産推進室のウェブサイト内で報告し、今後の予定についても紹介しておりますのでご参照ください。



北の縄文フォーラム2014

◆縄文世界遺産推進室ウェブサイト

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/jomon/index.htm>

(4) 「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成19年9月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などをご覧ください。

http://bunka.nii.ac.jp/jp/world/h_14.html

3 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成 20 年度に毎年 10 月 8 日～11 月 7 日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の 6 者により共同で、設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成 25 年度は、第 6 回目として、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座、シンポジウムなど、文化財に関連するイベントが、71 市町で 191 の事業が実施されました。

また、北海道教育委員会では、4 月 17 日～18 日に道庁ロビーなどで「世界遺産をめざして-北の縄文・パネル展 2013」（北海道と共催）を開催し、多くの皆様にご来場頂きました。

なお、第 6 回北海道文化財保護強調月間ポスターには、北海道開拓児童写生会で北海道教育委員会教育賞を受賞した「重要文化財旧開拓使工業局庁舎」の絵画を掲載しました。

今後も、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりを、市町村教育委員会等の協力を得ながら、取り組めます。

・文化財保護強調月間について→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkkan.htm>

「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち 6 団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成 20 年 7 月 17 日

浦幌町立博物館・展示会 『開拓当時の農機具』



4 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に係る道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を図りました。

[金成(かんなり)マツノート整理・翻訳、刊行事業]

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・^{かんなり}金成マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ 46『アイヌ英雄叙事詩「揺れる山丹神の岬」』蓮池悦子 訳
- ・ユーカラシリーズ 47『アイヌ英雄叙事詩「クルイセの女」』切替英雄、高橋靖以 訳
- ・ユーカラシリーズ 48『アイヌ英雄叙事詩「メノコユカラ私の姉サムブンクルが私を妬んだためにウバユリの根を掘って採る際に私を殺した」』萱野志朗 訳

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活用事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、伝統的な民俗技術及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

- ① アイヌ民俗技術伝承講座：道内
9会場(延べ97講座、延べ参加人員662人)
- ② アイヌ民俗芸能伝承講座：道内
8会場(延べ58講座、延べ参加人員638人)
- ③ アイヌ文化財専門職員等研修会
(会場：札幌、参加人員：39人)



アイヌ古式舞踊練習風景

5 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護又は保存整備をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、歴史資料の保存・修理、史跡・名勝の保存・整備の事業を行いました。

(1) 重要文化財

種別	名称	事業内容	事業者
重要文化財 (建造物)	豊平館(ほうへ いかん)	豊平館は、明治13年に建てられた開拓使の手による本格的洋風建築の遺構であり、北海道における明治時代洋風建築の代表作です。 経年劣化等による損傷が大きく、平成24年度から平成27年度まで保存修理工事を実施する予定であり、2年目の今年度は構造補強工事、屋根、板金工事を実施しました。	札幌市
重要文化財 (建造物)	旧旭川偕行社 (きゅうあさひかわ かいこうしゃ)	旧旭川偕行社は、明治35年に旭川に陸軍第七師団が設営された際に、将校たちの社交場として建設され、現在は旭川市彫刻美術館として保存、再利用されている建造物です。 平成24年度から平成27年度までの予定で保存修理工事を実施する予定で、2年目の今年度は石段コンクリート、石材、後補間仕切等の解体を実施しました。	旭川市
重要文化財 (歴史資料)	蝦夷三官寺善 光寺(えぞさんか んじぜんこうじ)関 係資料	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立されました。 平成25年度は、関係資料のうち「 ^{りんじ} 縑旨」等9点(紙本墨書)の修理を行いました。	善光寺 (伊達市)
重要文化財 (歴史資料)	蝦夷三官寺国 泰寺(えぞさんか んじこくたいじ)関 係資料	国泰寺は、東蝦夷地の警備、和人の定着化等を目的として文化元年(1804年)に建立された寺院で、境内には、『日鑑記』を含む文書・記録類、経典類、器物類等、総点数832点からなる貴重な資料(国泰寺関係資料)が保管されてきました。 平成23年度から26年度の4年間の計画で、破損物品43点に係る保存修理事業を行っています。	国泰寺 (厚岸町)

[整備状況]

重要文化財「豊平館」(札幌市)



建物外観 (仮設工事中)



解体工事 (2階広間床壁解体工事中)

重要文化財「旧旭川偕行社」(旭川市)



建物外観 (工事着手後)



解体工事 (2階展示室床修理工事)

重要文化財「蝦夷三官寺善光寺関係資料」(伊達市)



(伊達市教育委員会提供)



重要文化財「蝦夷三官寺国泰寺関係資料」(厚岸町)



(厚岸町教育委員会提供)

(2) 選定

種別	名称	事業内容	事業者
重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広町(もとまちすえひろちょう)重要伝統的建造物群保存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切にするため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。平成 25 年度は、古稀庵など 4 件の修理事業を実施しました。	函館市
重要文化的景観	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 平成 25 年度は、現地説明会等を行いました。	平取町

函館市元町末広町重要伝統的建造物群保存地区 (函館市)



「古稀庵主屋」建物外観 (修理完了後)



「旧相馬邸附属板塀」外観 (修理完了後)

平取町重要文化的景観（平取町）



[チセの修景]

◆チセはアイヌ語で家のことです。

このチセは地域のアイヌ文化振興に活用される場であり、建築技術を継承する意味もあります。

(3) 史跡・名勝

種別	名称	事業内容	事業者
特別史跡	五稜郭跡(ごりょうかくあど)	五稜郭は箱館奉行所の防御施設として元治元年(1864)に完成し、日本の建築・土木技術の伝統と西欧の城塞設計の思想が合流した特色ある城郭です。 平成25年度は、土塁・石垣の現況調査及び構造確認を目的とした発掘調査を実施しました。	函館市
史跡	松前氏城跡 福山城跡 館 城跡のうち福 山城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した城です。海からの攻撃に備えた台場(砲台)が城内外にあり、また城跡の背後には藩政時代から続く寺町が今も残ります。 平成25年度は光善寺庭園の遺構確認調査と、堀廻り地区の環境整備を実施しました。	松前町
史跡	最寄(もよろ)貝塚	オホーツク文化の代表的な遺跡である最寄貝塚は、平成25年5月1日に新たなガイダンス施設がオープンし、1年間で2万人を超える来訪者で賑わいました。 平成25年度は竪穴住居の床面遺構の模型製作・住居復元・園路整備などが行われ、シンポジウムや体験学習会なども開催されています。	網走市

史 跡	旧奥行臼駒通所(きゅうおくくまきうすえきていしよ)	駒通は北海道開拓の進捗に伴って順次設置され、大正 10 (1921) 年には 270 カ所を数えました。 旧奥行臼駒通所は、明治 43 (1910) 年に開設され、昭和 5 (1930) 年に廃止後は「山ト旅館」として運営され、建物や馬の放牧地など往時の景観を良く残しています。 平成 25 年度は保存管理計画を策定し、建物の修理方針などを決めました。	別海町
史 跡	シベチャリ川流域チャシ群及びアッペツチャシ跡	シヤクシャインの砦として有名なシベチャリチャシ跡など、新ひだか町管内の 5 つのチャシ跡と、オニビシのチャシ跡とされる日高町管内のアッペツチャシ跡が群指定されています。 平成 25 年度は、新ひだか町管内のチャシ跡についての保存管理計画策定が行われました。	新ひだか町
史 跡	東蝦夷地南部藩陣屋跡(ひがしえぞちなんぶはんじんやあと)モロラン陣屋跡	南部藩は安政 3 (1856) 年にペケレオタにモロラン陣屋を設け、オイナオシに見張所、ポロシレトルに台場と勤番所を配置しました。 最盛期には約 350 人の藩士が派遣され、明治元年まで北辺警備を行っています。 平成 25 年度は、倒木の処理や土塁の確認調査、史跡境界標の改修などを行いました。	室蘭市
名 勝	名勝ピリカノカ襟裳岬(オンネエンルム)	襟裳岬はアイヌ語で「大きな岬」を意味する「オンネエンルム」と呼ばれ、日高山脈の南端が太平洋に没する雄大な景観で知られています。 えりも町では 23 年度から「襟裳岬」を生かした観光振興・地域活性化事業に着手し、名勝の標識設置、6 言語による解説パンフレットの作成・配布、学習会の開催等を行いました。	えりも町
名 勝	名勝ピリカノカ絵鞆(えとも)半島外海岸	室蘭の外海岸地域は、アイヌ語地名の景観が非常に良く残っており、重工業地帯の内湾と好対照をなしています。 平成 25 年度は名勝の説明版、標識設置を行うとともに、講演会や展示会を開き、名勝の普及に努めました。	室蘭市

6 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道教育委員会及び市町村教育委員会が前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できるかぎりその取り扱いに関する調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、13,982.07ha について所在調査を、169.756ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工事や開発を計画



② 埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます



※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoji.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合



③ 埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)



④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。土器・石器などが落ちていないか
(川や海のそばの高台は特に要注意!) 実際に現地を歩いてみて調査します。



→遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査(市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。

掘った土の中に土器・石器等がある
か調べます。 ↓



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。(出土した土器 約2000年前のもの)
(中央の黒い土のシミが縄文時代の穴の跡)



→遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。

(北海道教育委員会など)

- (1) 現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2) 発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3) 工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会の職員が立ち会う。
- (4) 慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

7 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査・分布調査や普及公開事業などを行いました。

種別	名称	事業内容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される7箇所の所在調査と23箇所の試掘調査を行い、事業者との調整を図りました。またH508遺跡の範囲・内容確認調査も実施しました。	札幌市
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡鷺ノ木遺跡の竪穴住居跡の確認調査を実施しました。また、過年度調査した砂原陣屋跡と松屋崎台場跡の報告書を作成しました。	森町
埋蔵文化財	町内遺跡	過去に町内遺跡の発掘調査等で出土した遺物の公開活用を目的として、金属製品・木製品・骨角器2539点に合成樹脂をしみ込ませる保存処理を行いました。	上ノ国町
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される150箇所の所在調査、11箇所の試掘調査を実施しました。調査の結果、土器・石器等が出土しました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される9箇所の試掘調査を実施し、新たに4箇所の遺跡を確認しました。	津別町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される場所の試掘調査と苫東柏原地区の分布調査を行い、新たに5箇所の遺跡を確認しました。また、過去5年分の調査結果をまとめた報告書を刊行しました。	苫小牧市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡垣ノ島遺跡の範囲内容確認調査を実施しました。調査の結果、配石遺構3基と土坑2基を検出しました。土坑からは漆膜片が出土し、縄文時代の墓と考えられています。	函館市
埋蔵文化財	市内遺跡	史跡キウス周堤墓群の広がりを確認するため、周辺地域の試掘調査を実施しました。また、史跡の詳細な測量図を作成しました。	千歳市
埋蔵文化財	町内遺跡	チャシコツ岬上遺跡・来運1遺跡の範囲内容確認調査を実施しました。チャシコツ岬上遺跡はオホーツク文化期の集落跡で、配石遺構が検出されました。	斜里町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	千歳市埋蔵文化財センターで縄文人の生活の体験学習会や土器・石器・勾玉作り、史跡キウス周堤墓群等をテーマとした企画展・講演会を実施し、市民向けのパンフレットを作成しました。また、史跡キウス周堤墓内に案内板を設置しました。	千歳市

埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	遠軽町埋蔵文化財センターで石器づくり・アクセサリーづくり等の体験学習会や講演会、展示会を開催し、黒曜石の露頭がある赤石山の見学会を実施しました。	遠軽町
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	史跡北黄金貝塚や縄文文化を紹介する講座・展示会・シンポジウムやイベント等を開催し、史跡を紹介する日本語・英語のパンフレットを作成しました。また、縄文キャンプ等の体験学習を実施しました。	伊達市
埋蔵文化財	史跡等及び埋蔵文化財公開活用	船泊遺跡出土品の再整理を実施し、広報資料を作成しました。また、関連するシンポジウム・企画展を開催しました。	礼文町



函館市 垣ノ島遺跡の配石遺構



斜里町 チャシコツ岬上遺跡調査風景



礼文町 シンポジウムの様子



遠軽町 赤石山見学会

8 発掘調査

平成 25 年度は北海道内で 85 件、104,432 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	53	52,041 m ²
公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	15	46,463 m ²
大学・博物館等	17	5,928 m ²

また、平成 25 年度に北海道内の市町村教育委員会が実施した発掘調査の状況や出土遺物などについては、北海道教育委員会のホームページで公開していますので、ご覧ください。URLは次のとおりです。

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h25hakkutsu-gaiyou.htm>



厚真町
シヨロマ 3 遺跡出土の短甲

函館市
亀田中野 2 遺跡



Ⅱ 資料編

1 文化財

(1) 文化財の指定状況(国指定・道指定)

区分	種別	地域を定めず	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	オホーツク	十勝	釧路	根室	国保有	計
国指定	国宝							1										1
	重要文化財			14	3	3	1	13	5	1	2	2	1	1	2		5	53
	重要無形文化財																	0
	重要有形民俗文化財			1			1	1			1							4
	重要無形民俗文化財			1														1
	特別史跡							1										1
	史跡		1	8	6	6	1	10	2		1		4	2	6	4		51
	名勝(*1)			*1		*2	*3	1		1		*1	1 *1	*1				3
	特別天然記念物	1		1		1	1			1					1			6
	天然記念物	14	2	2	2	1	2	2	2	2	2		1	1	5	3		41
小計	15	3	27	11	11	6	29	9	5	6	2	7	4	14	7	5	161	
選定	重要伝統的建造物群保存地区							1										1
	重要文化的景観						1											1
	小計	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
登録	有形文化財(建造物)		25	22	14	6	1	19	1	13		3	13	7	1	8		133
	記念物							1										1
	小計	0	25	22	14	6	1	20	1	13	0	3	13	7	1	8	0	134
道指定	有形文化財		3	7	5	5	2	32	7		2	3	3	4	2	3		78
	有形民俗文化財			2				1	3									6
	無形民俗文化財							2	5									7
	史跡		1		3	2	2	4	1	1		2	5	4	1			26
	名勝									1			1					2
	天然記念物		5			1	1	2	1	1		5	5	7	1	4		33
	小計	0	9	9	8	8	5	41	17	3	2	10	14	15	4	7	0	152
合計	15	37	58	33	25	13	91	27	21	8	15	34	26	19	22	5	449	

※国指定名勝(びりか)の指定件数は1件でカウントされるため、*印の件数は計、小計に加算されない。) "kamide.hidenobu@pref.hokkaido.lg.jp

※北海道の文化財→<http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazai07.htm>

(2) 国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

(平成26年3月31日現在)

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	考古資料	函館市	H19. 6. 8

〔重要文化財〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	工 芸	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	建造物	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城（松前城）本丸御門	建造物	松前町	S16. 5. 8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	書跡・典籍	帯広市	S25. 8. 29
5	刀 無銘伝来国行	工 芸	札幌市	S31. 6. 28
6	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	考古資料	室蘭市	S37. 6. 21
7	豊平館	建造物	札幌市	S39. 5. 26
8	木造大日如来坐像（本堂安置）	彫 刻	函館市	S42. 6. 15
9	北海道庁旧本庁舎	建造物	札幌市	S44. 3. 12
10	旧日本郵船株式会社小樽支店	建造物	小樽市	S44. 3. 12
11	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	建造物	札幌市	S44. 8. 19
12	旧札幌農学校演武場（時計台）	建造物	札幌市	S45. 6. 17
13	旧三戸部家住宅	建造物	伊達市	S46. 12. 28
14	旧花田家番屋	建造物	小平町	S46. 12. 28
15	旧下ヨイチ運上家	建造物	余市町	S46. 12. 28
16	旧中村家住宅	建造物	江差町	S46. 12. 28
17	太刀川家住宅店舗	建造物	函館市	S46. 12. 28
18	人形装飾異形注口土器(北海道上磯郡上磯町茂辺地出土)	考古資料	北斗市	S48. 6. 6
19	旧函館区公会堂	建造物	函館市	S49. 5. 21
20	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	考古資料	千歳市	S54. 6. 6
21	函館ハリストス正教会復活聖堂	建造物	函館市	S58. 6. 2
22	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土壙墓出土）	考古資料	千歳市	S63. 6. 6
23	旧旭川偕行社	建造物	旭川市	H1. 5. 19
24	北海道大学農学部植物園・博物館	建造物	札幌市	H1. 5. 19
25	北海道美利河1遺跡出土品	考古資料	今金町	H3. 6. 21
26	北海道湯の里4遺跡土壙出土品	考古資料	知内町	H3. 6. 21

27	龍雲院	建造物	松前町	H4. 1. 21
28	旧笹浪家住宅	建造物	上ノ国町	H4. 1. 21
29	正行寺本堂	建造物	厚岸町	H4. 1. 21
30	法源寺山門	建造物	松前町	H5. 4. 20
31	上國寺本堂	建造物	上ノ国町	H5. 4. 20
32	北海道江別太遺跡出土品	考古資料	江別市	H5. 6. 10
33	北海道元江別1遺跡土壙墓出土品	考古資料	江別市	H7. 6. 15
34	北海道コタン温泉遺跡出土品	考古資料	八雲町	H9. 6. 30
35	北海道目梨泊遺跡出土品	考古資料	枝幸町	H12. 6. 27
36	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	建造物	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
37	旧手宮鉄道施設	建造物	小樽市	H13. 11. 14
38	北海道志海苔中世遺構出土銭	考古資料	函館市	H15. 5. 29
39	旧本間家住宅	建造物	増毛町	H15. 12. 25
40	北海道有珠モンリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
41	北海道有珠モンリ遺跡出土品	考古資料	伊達市	H16. 6. 8
42	箱館奉行所文書	歴史資料	札幌市（北海道立文書館）	H16. 6. 8
43	北海道美々8遺跡出土品	考古資料	江別市（北海道立埋蔵文化財センター）	H17. 6. 9
44	蝦夷三官寺善光寺関係資料	歴史資料	伊達市	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺等澗院関係資料	歴史資料	様似町	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	歴史資料	厚岸町	H17. 6. 9
47	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	考古資料	恵庭市	H18. 6. 9
48	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	歴史資料	松前町	H18. 6. 9
49	大谷派本願寺函館別院	建造物	函館市	H19. 12. 4
50	北海道上之国勝山館出土品	考古資料	上ノ国町	H20. 7. 10
51	北海道白滝遺跡出土品	考古資料	遠軽町	H23. 6. 27
52	礼文町船泊遺跡出土品	考古資料	礼文町	H25. 6. 19
53	旧開拓使工業局庁舎	建造物	札幌市	H25. 8. 7

※ 国保有重要文化財（No.6・18 東京国立博物館保管、No.22 北海道立埋蔵文化財センター、No.33 江別市郷土資料館、No.40 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシャマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡 松前氏城跡 福山城跡(追加指定) 館城跡(追加指定)	松前町 厚沢部町 松前町 厚沢部町	S10. 6. 7 H14. 9. 20 H25. 10. 17 H25. 10. 17
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16

11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
21	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23
22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
23	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
24	大館跡	松前町	S52. 4. 5
25	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
26	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚 北黄金貝塚(追加指定)	伊達市 伊達市	S62. 12. 25 H25. 10. 17
39	入江・高砂貝塚 入江・高砂貝塚(追加指定)	洞爺湖町 洞爺湖町	S63. 5. 13 H23. 9. 21

40	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
42	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
44	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアッペツチャシ跡	新ひだか・日高町	H9. 12. 2
45	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
49	鷺ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26
	鷺ノ木遺跡(追加指定)	森町	H24. 9. 19
50	垣ノ島遺跡	函館市	H23. 2. 7
51	旧奥行白駅通所	別海町	H23. 9. 21

[名 勝]

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14
2	旧岩船氏庭園(香雪園)	函館市	H13. 8. 13
3	ピリカノカ 九度山(クトゥンヌプリ)	名寄市	H21. 7. 23
	黄金山(ピンネタイオルシペ)	石狩市	H21. 7. 23
	神威岬(カムイエトツ)	枝幸町・浜頓別町	H22. 2. 22
	襟裳岬(オンネエンルム)	えりも町	H22. 8. 5
	瞰望岩(インカルシ)	遠軽町	H23. 2. 7
	カムイチャシ	豊浦町	H23. 2. 7
	絵鞆半島外海岸	室蘭市	H24. 1. 24
	十勝幌尻岳(ポロシリ)	帯広市・中札内村	H24. 9. 19
	幌尻岳(ポロシリ)	新冠町・平取町	H25. 10. 17
オキクルミのチャシ及びムイノカ	平取町	H26. 3. 18	

[特別天然記念物]

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ	植 物	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林	植 物	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落	植 物	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山	地質鉱物	壮瞥町	S32. 6. 19

5	大雪山	天然保護 区域	上川町・東川町・ 美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ	動 物	主な生息地北海道	S27. 3. 29

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯	植 物	倶知安町・京極町・ 喜茂別町・真狩村・ ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林	植 物	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林（植物）	植 物	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地	植 物	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落	植 物	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林	植 物	登別市	T13. 12. 9
7	鶺鴒川ゴヨウマツ自生北限地帯	植 物	厚沢部町	S3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地	動 物	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯	植 物	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地	動 物	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬	動 物	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地	動 物	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧	地質鉱物	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石	地質鉱物	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地	植 物	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地	植 物	様似町	S18. 8. 24
18	和琴ミンミンゼミ発生地	動 物	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地	動 物	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ	動 物	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ	動 物	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ	動 物	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原	天然保護 区域	標茶町・鶴居村・ 釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ	動 物	主な生息地北海道・ 新潟県	S45. 1. 23

28	オオワシ	動物	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45.1.23
29	沙流川源流原始林	天然保護区域	日高町	S45.12.4
30	エゾシマフクロウ	動物	主な生息地北海道	S46.5.19
31	コクガン	動物	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46.5.19
32	ヒシクイ	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46.6.28
33	マガン	動物	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46.6.28
34	女満別湿生植物群落	植物	大空町	S47.6.14
35	松前小島	天然保護区域	松前町	S47.12.12
36	ヒメチャマダラセセリ	動物	主な生息地北海道	S50.2.13
37	エゾミカサリュウ化石	地質鉱物	三笠市	S52.7.16
38	標津湿原	天然保護区域	標津町	S54.8.7
39	焼尻の自然林（植物）	植物	羽幌町	S58.8.30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯	植物・地質鉱物	夕張市・南富良野町	H8.6.19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地	植物・地質鉱物	足寄町	H12.9.6

〔重要伝統的建造物群保存地区〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	函館市元町末広町	函館市	H1.4.21

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19.7.16

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

(平成26年3月31日現在)

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	考古資料	函館市	S32.12.20

2	野幌屯田兵第二中隊本部	建造物	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	彫刻	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	彫刻	伊達市	S34. 2. 24
5	夷酋列像粉本	絵画	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	建造物	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	建造物	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	建造物	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	建造物	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	建造物	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯡供養塔	歴史資料	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	建造物	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	考古資料	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	歴史資料	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鍬遺跡出土の遺物	考古資料	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	考古資料	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	建造物	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	考古資料	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	考古資料	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	歴史資料	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	絵画	函館市	S43. 3. 29
22	楳法華出土の尖底土器	考古資料	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	建造物	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	考古資料	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	工芸	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	古文書	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅逕	建造物	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	建造物	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
31	サイベ沢遺跡出土の遺物	考古資料	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	考古資料	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	建造物	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	考古資料	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	建造物	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	考古資料	余市町	S51. 5. 21

37	円空作観音像	彫刻	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	彫刻	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	彫刻	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	彫刻	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	絵画	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	考古資料	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	建造物	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K-4 4 6 遺跡出土の遺物	考古資料	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	考古資料	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイボ遺跡出土の遺物	考古資料	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	建造物	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	工芸	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	歴史資料	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	彫刻	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	建造物	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	建造物	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	建造物	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	彫刻	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	彫刻	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	考古資料	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	彫刻	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	歴史資料	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	建造物	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	歴史資料	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	彫刻	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行白駒通	建造物	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	考古資料	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	絵画	豊頃町	H13. 3. 30
66	光明寺寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	歴史資料	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	歴史資料	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	古文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	彫刻	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	考古資料	八雲町	H19. 3. 20

72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	考古資料	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	歴史資料	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	歴史資料	江別市（北海道立図書館）	H22. 3. 16
75	大麻 3 遺跡出土の土偶	考古資料	江別市	H24. 3. 19
76	二風谷遺跡群出土品	考古資料	平取町	H24. 3. 19
77	斜里朱円周提墓群出土品	考古資料	斜里町	H25. 3. 29
78	入江貝塚出土品	考古資料	洞爺湖町	H26. 3. 31

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様（妙亀・法鮫大明神像）	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様（龍神・妙亀菩薩・鮫神像）	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町・福島町・函館市・小樽市	H20. 6. 13

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6
4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29

5	斜里朱円周堤墓群 (H25. 3. 29 「斜里朱円周堤墓及び出土遺物」 から名称変更)	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家墳墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッベ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	分 野	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	植 物	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	地質鉱物	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	植 物	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	植 物	北見市	S32. 1. 29

5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	植 物	礼文町	S34. 9. 11
6	当麻鍾乳洞	地質鉱物	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	植 物	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	植 物	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	動 物	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	植 物	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	植 物	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	天然保護 区域	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球顆	地質鉱物	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	地質鉱物	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	地質鉱物	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	植 物	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	植 物	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	地質鉱物	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	地質鉱物	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	植 物	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	動 物	鹿追町・ 上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	植 物	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮎生息地	動 物	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	地質鉱物	乙部町	S47. 4. 1
26	オシエンコシエン粗粒玄武岩柱状節理	地質鉱物	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	地質鉱物	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	地質鉱物	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギュウ化石標本	地質鉱物	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	植 物	礼文町	H6. 6. 3
31	黄金水松	植 物	芦別市	H14. 3. 29
32	空知大滝罅穴群	地質鉱物	芦別市	H23. 3. 15
33	西別湿原ヤチカンバ群落地	植 物	別海町	H23. 3. 15

・道指定文化財一覧は→<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-do-siteι.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

(平成26年3月31日現在)

管内	有形文化財		無形 文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然 記念物	伝統的 建造物群 保存地区	計	
	建造物 件数	美術 工芸品 (棟数)		有形	無形						
											空知
石狩	8	(8)	24	2	3	3	5	0	4	0	49
後志	9	(9)	28	1	0	11	26	2	10	0	87
胆振	9	(9)	41	0	11	14	24	0	13	0	112
日高	1	(1)	17	5	0	0	2	1	1	0	27
渡島	2	(2)	112	0	18	15	9	4	8	1	169
檜山	7	(10)	50	0	9	13	4	1	1	0	85
上川	15	(16)	19	3	0	10	16	0	19	0	82
留萌	3	(3)	4	0	3	7	42	0	1	0	60
宗谷	15	(15)	12	0	0	2	14	0	7	0	50
ホーツク	8	(8)	12	0	4	1	7	0	7	0	39
十勝	3	(3)	37	2	1	8	7	0	15	0	73
釧路	3	(3)	14	1	0	3	6	0	14	0	41
根室	3	(7)	16	0	1	2	6	0	20	0	48
合計	102	(111)	424	17	54	106	179	8	129	1	1,020

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/grp/03/itiran220401.pdf>

・函館市（渡島）が定める伝統的建造物群保存地区は、国選定「重要伝統的建造物群保存地区」の範囲と同じ。

(5) 管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
空知	25	0
石狩	22	0
後志	14	0
胆振	6	0
日高	1	0

管内	有形文化財	記念物
渡島	19	1
檜山	1	0
上川	13	0
留萌	0	0
宗谷	3	0

管内	有形文化財	記念物
ホーツク	13	0
十勝	7	0
釧路	1	0
根室	7	0
合計	133	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

[登録有形文化財]

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	登録年月日
1	札幌市資料館 (旧札幌控訴院)	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂 (旧東北帝国大学農科大学林学科教室)	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館 (旧北星女学校宣教師館)	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会 (旧札幌美以教会堂)	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館 (旧三井クラブ)	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチェラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎 (旧札幌農学校動植物学教室)	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室 (旧函館師範学校)	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館 (旧標本貯蔵室)	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室 (旧マンロー邸)	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス (旧佐田邸)	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館 (旧北海道庁真駒内種畜場事務所)	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28

30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28
36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫 (リハーサルホール)	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫 (チェアーズギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫 (デザインギャラリー)	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫 (大雪地ビール館)	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場 (旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場)	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス (旧浅野セメント函館営業所)	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院 (旧遺愛女学校) 謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12

65	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫(昔の酒道具展示館)	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学(旧頼城小学校)校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学(旧頼城小学校)体育館	芦別市	H20. 3. 7
95	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
97	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
98	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
99	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7

100	中標津町郷土館緑ヶ丘文官（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
101	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7
102	黒田家住宅主屋	札幌市	H22. 9. 10
103	黒田家住宅蔵	札幌市	H22. 9. 10
104	黒田家住宅表門	札幌市	H22. 9. 10
105	黒田家住宅石塀	札幌市	H22. 9. 10
106	旧青山家別邸主屋	小樽市	H22. 9. 10
107	旧青山家別邸文庫蔵	小樽市	H22. 9. 10
108	旧青山家別邸板塀	小樽市	H22. 9. 10
109	双葉幼稚園園舎	帯広市	H22. 9. 10
110	夕張鹿鳴館（旧北炭鹿ノ谷倶楽部）	夕張市	H23. 10. 28
111	高龍寺本堂	函館市	H24. 2. 23
112	高龍寺開山堂	函館市	H24. 2. 23
113	高龍寺山門及び袖塀	函館市	H24. 2. 23
114	高龍寺防火塀	函館市	H24. 2. 23
115	高龍寺金毘羅堂	函館市	H24. 2. 23
116	高龍寺水盤舎	函館市	H24. 2. 23
117	高龍寺鐘楼	函館市	H24. 2. 23
118	高龍寺宝蔵	函館市	H24. 2. 23
119	高龍寺位牌堂	函館市	H24. 2. 23
120	高龍寺土塀	函館市	H24. 2. 23
121	沼田家住宅旧第二りんご倉庫	札幌市	H24. 8. 13
122	柳田家住宅旧りんご蔵	札幌市	H24. 8. 13
123	博物館網走監獄庁舎	網走市	H24. 8. 13
124	博物館網走監獄煉瓦造独居房	網走市	H24. 8. 13
125	博物館網走監獄鏡橋入口哨舎	網走市	H24. 8. 13
126	博物館網走監獄鏡橋出口哨舎	網走市	H24. 8. 13
127	博物館網走監獄西門哨舎	網走市	H24. 8. 13
128	博物館網走監獄裏門	網走市	H24. 8. 13
129	博物館網走監獄裏門哨舎	網走市	H24. 8. 13
130	旧岡田家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
131	旧岡田家住宅蔵	旭川市	H25. 6. 21
132	山崎家住宅主屋	旭川市	H25. 6. 21
133	旧瀬戸家住宅主屋	稚内市	H25. 6. 21

〔登録記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・ 国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(7) 平成 25 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

〔一般公開・展示会〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
美唄市	〈道指定 有形文化財〉 美唄屯田兵屋の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 旧桜井家住宅の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 天然記念物〉 光珠内いん石の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 4 1 1 0 形式十輪連結タンク機関車 2 号の公開	美唄市教育委員会
芦別市	〈道指定 史跡〉 野花南周堤墓群の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 有形文化財〉 滝里遺跡群出土遺物の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉 黄金水松の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉 空知大滝甌穴群の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 旧干場家レンガ倉庫の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 天然記念物〉 新城仙台山の三本ナラの公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 毛抜形太刀の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 星槎大学(旧頼城小学校)校舎の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 星槎大学(旧頼城小学校)体育館の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁の公開	星の降る里百年記念館
赤平市	〈市指定 有形文化財〉 奈江沢遺跡出土の棍棒形石器の公開	赤平市役所
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 屯田兵屋の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 牧羊用石造サイロの公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈道指定 天然記念物〉 タキワカイギョウ化石標本の公開	滝川市美術自然史館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 「千瓢彫」本田数馬翁の遺作 木彫の鮭の公開	栗山町教育委員会
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉記念館の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉麟太郎君記念碑の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 続縄文時代鳩山2遺跡「深鉢形土器」の公開	栗山町開拓記念館
新十津川町	〈町指定 有形文化財〉 絵馬(玉置神社奉祀之景)の公開	新十津川町教育委員会
秩父別町	〈町指定 有形文化財〉 屯田の鐘の公開	秩父別町教育委員会
沼田町	〈町指定 有形文化財〉 クラウス 1 5 号蒸気機関車の公開	沼田町教育委員会

沼田町	〈道指定 有形文化財〉 本願寺駅通の公開	沼田町教育委員会
札幌市	札幌市埋蔵文化財センター企画展	札幌市埋蔵文化財センター
札幌市	〈国指定 重要文化財〉 北海道大学農学部植物園・博物館の公開	北海道大学植物園
札幌市	〈国指定 重要文化財〉 北海道大学農学部第二農場の建物の公開	北海道大学総合博物館
札幌市	野外博物館北海道開拓の村（歴史的建造物 52 棟）の公開	一般財団法人北海道開拓の村
江別市	縄文人に挑戦一見、触れる、つくる、縄文生活体験ひろば展	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	「北海道遺跡百選 6-北海道埋蔵文化財センターの調査から」展	北海道立埋蔵文化財センター
江別市	世界遺産をめざす北の縄文展	北海道立埋蔵文化財センター
千歳市	史跡紹介（国指定史跡キウス周堤墓群資料展示）	千歳市埋蔵文化財センター
恵庭市	常設展示「先住の人びと」（遺跡発掘調査出土品展示）他 6 のテーマで資料展示	恵庭市郷土資料館
恵庭市	〈国指定 重要文化財〉 特別展示「重要文化財と市指定文化財展」（北海道カリンバ遺跡墓坑出土品他）の開催	恵庭市郷土資料館
恵庭市	〈市指定 有形文化財〉 「柏木川 4 遺跡展」出前展示	恵庭市郷土資料館
石狩市	〈国指定 史跡〉 荘内藩ハママシケ陣屋跡の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈道指定 有形民俗文化財〉 金龍寺の鮫様の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩弁天社の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 旧長野商店の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形民俗文化財〉 石狩弁天社の手水鉢の公開	石狩市教育委員会
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧手宮鉄道施設の公開 〈市指定 史跡〉 北海道鉄道開通起点の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造聖観音立像の公開	浅草観音寺
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 日本銀行旧小樽支店(金融資料館)の公開	金融資料館
小樽市	〈道指定 史跡〉 地鎮山環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 にしん漁場建築(旧田中家母屋)の公開	小樽市産業港湾部観光振興室
小樽市	〈国指定 史跡〉 手宮洞窟の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国指定 史跡〉 忍路環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国登録有形文化財〉 旧青山家別邸(主屋、文庫蔵、板塀)の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 木造 五百羅漢像の公開	小樽市総合博物館
留寿都村	留寿都村公民館郷土資料室の公開	留寿都村教育委員会
岩内町	〈道指定 有形文化財〉 岩内東山田筒文化遺跡出土遺物の展示	岩内町郷土館
余市町	余市水産博物館公開事業(ニシン漁関係資料他)	余市水産博物館
余市町	平成 25 年度余市水産博物館特別展「美しき余市の絵図・地図展」開催	余市水産博物館
余市町	〈国指定 史跡〉 旧下ヨイチ運上家公開事業	下ヨイチ運上家
余市町	〈国指定 史跡〉 フゴッペ洞窟公開事業	フゴッペ洞窟
余市町	〈国指定 史跡〉 旧余市福原漁場公開事業	旧余市福原漁場
室蘭市	〈市指定 有形文化財、有形民俗文化財〉 仙台藩角田領添田家関係資料、南部藩陣屋跡出土砲弾、友情人形の公開	室蘭市民俗資料館

室蘭市	〈市指定 有形文化財、有形民俗文化財〉輪西屯田兵記念碑、輪西屯田兵旧火薬庫、輪西屯田兵関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 天然記念物〉白鳥大橋海底部等出土の材化石及び貝化石標本の公開	白鳥大橋記念館みたら
室蘭市	〈国登録 有形文化財〉室蘭市旧室蘭駅舎の公開	室蘭観光協会
室蘭市	〈国指定 史跡〉東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈国指定 名勝〉名勝ピリカノカ絵鞆半島外海岸の公開	室蘭市教育委員会
苫小牧市	〈国 登録有形文化財〉北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）の公開	北海道大学苫小牧研究林
苫小牧市	〈道指定 有形文化財〉アイヌの丸木舟及び推進具の公開	苫小牧市美術博物館
苫小牧市	〈国指定 史跡〉静川遺跡の出土土器を展示公開	苫小牧市埋蔵文化財調査センター
登別市	〈市指定 有形文化財〉日野愛憲の「明治二年以降片倉家北海道移住顛末」、「黒澤家史料」の公開	登別市郷土資料館
白老町	平成25年度埋蔵文化財巡回公演展「アヨロ遺跡編」	仙台藩白老元陣屋資料館
白老町	平成25年度秋季郷土資料展「白老の昭和第一部～戦争の激動のなかで～」	仙台藩白老元陣屋資料館
安平町	どんぐり祭り(旧早来小学校のどんぐりの大木が見てきた開拓の歴史を写真、資料等で紹介)	安平町早来研修センター
厚真町	厚真の縄文・続縄文時代展（町内発掘調査出土品他資料を展示）	厚真町総合福祉センター
豊浦町	豊浦の秘境探索会<小幌洞窟遺跡を含むジオサイトの現地見学>	小幌海岸
平取町	沙流川歴史館特別展「遺跡出土のガラス玉」	沙流川歴史館
函館市	企画展 新収蔵資料展の開催（24年度中の寄贈資料等の公開）	市立函館博物館
函館市	函館学コーナー展示「ジョン・ミルン夫妻とお雇い外国人」	函館市中央図書館
北斗市	北斗市郷土資料館新収蔵品展	北斗市郷土資料館
福島町	町指定有形文化財円空仏観世音菩薩像のレプリカ一般公開	福島町青函トンネル記念館
知内町	〈国指定 重要文化財〉湯の里4遺跡土壙出土品の公開	知内町郷土資料館
七飯町	〈町指定 有形文化財〉迫田家文書の公開	七飯町歴史館
八雲町	〈国指定 重要文化財〉コタン温泉遺跡出土品展	八雲町教育委員会
江差町	〈国指定 重要文化財〉旧中村家住宅の公開	江差町郷土資料館
江差町	〈道指定 有形文化財〉旧檜山爾志郡役所の公開	江差町郷土資料館
江差町	〈町指定 有形文化財〉旧関川家別荘の公開	江差町郷土資料館
上ノ国町	〈国指定 重要文化財〉旧笹浪家住宅の公開	旧笹浪家住宅
今金町	ピリカ旧石器文化館開館10周年記念事業パネル展	ピリカ旧石器文化館
上富良野町	〈町指定 有形文化財〉東中尋常高等小学校御神影奉置所の公開	八幡神社
上富良野町	〈町指定 史跡〉憩の楡跡の碑の公開	上富良野町西3線北29号
上富良野町	〈町指定 史跡〉富原地区の地神及び山の神の公開	旭川永山農場内
剣淵町	〈町指定 有形文化財〉剣淵屯田兵屋	剣淵町郷土資料館
剣淵町	〈町指定 天然記念物〉開拓記念木やちだもの公開	剣淵町仲町34番3
小平町	北海道開拓記念館リニューアル予告展示会「北海道開拓記念館から北海道博物館へ」	小平町文化交流センター

増毛町	〈国指定 重要文化財〉 旧本間家住宅(旧商家丸一本間家)の公開	増毛町教育委員会
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 修羅の公開	苫前町郷土資料館
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 須恵器の公開	苫前町考古資料館
枝幸町	〈国指定 重要文化財〉 北海道目梨泊遺跡出土品の公開	ホックミュージアムえさし
枝幸町	特別展「小樽新聞記者・藤井伝一郎の見た宗谷」	ホックミュージアムえさし
礼文町	〈国指定 重要文化財〉 礼文町船泊遺跡出土品写真展	礼文町郷土資料館
礼文町	北海道開拓記念館リニューアル予告展示「北海道開拓記念館から北海道博物館へ」	礼文町郷土資料館
網走市	〈町指定 史跡〉 モヨロ貝塚出土資料の特別展示	網走市立郷土博物館
網走市	「矯正建築の歴史」展の開催	博物館網走監獄・歴史館
北見市	企画展「大昔の北見」北上4遺跡出土遺物とその時代の開催	北見市教育委員会
北見市 (留辺蘂町)	〈市指定 有形文化財〉 武華駅通の公開	北見市教育委員会留辺蘂教育事務所
北見市	美里洞窟遺跡の公開	北見市教育委員会
訓子府町	〈町指定 有形文化財〉 増田遺跡及び緑丘B遺跡出土遺物の公開	くねっふ歴史館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開	幕別町蝦夷文化考古館
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 札内N遺跡出土品の公開	幕別町ふるさと館
浦幌町	博物館収蔵資料「開拓当時の農機具」展	浦幌町立博物館
本別町	本別町指定文化財常設展示「4つの指定文化財」	本別町中央公民館
釧路市	釧路市市立博物館 新館開館30周年記念収蔵資料展 ～資料がつなぐ釧路の記憶～	釧路市立博物館
釧路市	〈市指定 有形文化財〉 星兜(残欠)の公開	釧路市立博物館
白糠町	上茶路遺跡出土資料の展示	白糠町公民館
根室市	〈道指定 有形文化財〉 和田屯田兵村の被服庫の公開	根室市和田屯田記念館
根室市	〈道指定 有形文化財〉 初田牛20遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物の公開	根室市歴史と自然の資料館
根室市	〈市指定 有形文化財〉 穂香堅穴群出土の動物意匠付土器、明治牧場の大金庫、俄羅斯船之圖及びワシレイラフロウ之圖の公開	根室市歴史と自然の資料館
別海町	〈道指定 有形文化財〉 奥行臼駅通の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 奥行臼駅の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 旧別海村営軌道風連線奥行臼停留所の公開	別海町教育委員会
中標津町	〈国登録 有形文化財〉 旧北海道農事試験場根室支場陳列館の公開	中標津町教育委員会
標津町	会津藩蝦夷地御領分標津元陣屋創建150年事業	標津町ポー川史跡自然公園

〔イベント〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	第32回時計台まつり記念行事	時計台まつり実行委員会
札幌市	体験学習室行事「こども日記－昭和のはじめの暮らしをのぞこう－」	北海道開拓記念館
札幌市	文化の日フォーラム「北海道開拓記念館から北海道博物館へ」	北海道開拓記念館
千歳市	勾玉をつくろう!	千歳市埋蔵文化財センター

札幌市	第 31 回 児童写生会絵画展	
札幌市	北海道文化財保護功労者表彰式	北海道文化財保護協会
洞爺湖町	縄文体験事業—縄文人のものづくりにチャレンジ!	洞爺湖町教育委員会
豊浦町	豊浦の秘境探索会(小幌遺跡を含むジオサイトの現地見学)	豊浦町教育委員会
厚真町	北海道産の石で勾玉をつくろう!	厚真町教育委員会
厚真町	縄文土器づくり体験	厚真町教育委員会
函館市	縄文体験定期講座「土器野焼き体験」	函館市縄文文化交流センター
函館市	縄文体験定期講座「縄文染め」	函館市縄文文化交流センター
東川町	町民総合文化祭【町指定無形文化財】越中踊り子供保存会による公演	東川町教育委員会
東川町	町民総合文化祭【町指定無形文化財】羽衣太鼓保存会による公演	東川町教育委員会
占冠村	占冠村総合文化祭	占冠村教育委員会
増毛町	増毛町芸術文化施設活性化事業「青森民話の語り」	増毛町教育委員会
浦幌町	開拓時代の食事を食する会	浦幌町立博物館
弟子屈町	アイヌ文様入りしおり作成体験	屈斜路コタンアイヌ民俗資料館

〔講演・講座〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	博物館ボランティア体験講座	一般財団法人北海道開拓の村
札幌市	歴史講座「ある津軽人が記した幕末の松前・蝦夷地情報」	北海道開拓記念館
札幌市	歴史講座「ある津軽人が記した幕末の松前・蝦夷地情報」	北海道開拓記念館
千歳市	公開講座「キウス遺跡群」	千歳市埋蔵文化財センター
恵庭市	カリンバ土曜講座「第3回えにわの宝物」(恵庭市内縄文遺跡)	恵庭市郷土資料館
伊達市	縄文ロビー講座「世界遺産'ねほり・はほり」	伊達市教育委員会
洞爺湖町	縄文ロビー講座	洞爺湖町教育委員会
平取町	沙流川歴史館講座「北海道出土のガラス玉」	沙流川歴史館
函館市	学芸員こぼれ話2「函館にくらしたアイヌの人々」	市立函館博物館
松前町	『幕末の松前・箱館』公演事業 国指定史跡・特別史跡関係	松前町教育委員会
網走市	民族学と考古学 学問の系譜	北海道立北方民族博物館
網走市	網走監獄の建築をめぐる	博物館網走監獄学芸課
浦幌町	博物館ミニ移動講座「史跡編」	浦幌町立博物館
厚岸町	古文書教室	厚岸町海事記念館
厚岸町	文化財歴史講演会	厚岸町海事記念館
白糠町	アイヌ文化出前講座(白糠小学校・白糠中学校)	白糠町教育委員会

・平成25年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkan.htm>

(8) 平成 25 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 36 名を委嘱して計画的に巡視を行い、併せて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	52	52	10	48	11,994	
パトロール実施件数	29	47	9	45	195	325

(9) 平成 25 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数 (※天然記念物のみ)

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官、北海道教育委員会又は市町教育委員会の許可が必要となります。

[国指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	9	0	38	47
北海道教育委員会	3	0	8	11
市町教育委員会	0	0	1	1

[道指定]

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	0	5	5

(10) 平成 25 年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
157	46	716	92	1	1,012

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覽

空	岩見沢市	54	後志	ニセコ町	194	渡島	知内町	32	上川	幌加内町	8	十勝	雄武町	50					
	夕張市	16		真狩村	20		木古内町	56		(上川計)	1,072		(ホーツク計)	2,205					
	美唄市	6		留寿都村	7		北斗市	105		留萌市	28		帯広市	61					
	芦別市	93		喜茂別町	13		七飯町	72		増毛町	16		音更町	105					
	赤平市	13		京極町	12		鹿部町	6		小平町	19		士幌町	39					
	三笠市	12		俱知安町	21		森町	51		苫前町	15		上士幌町	74					
	滝川市	10		共和町	31		八雲町	99		羽幌町	32		鹿追町	51					
	砂川市	19		岩内町	13		長万部町	48		初山別村	7		新得町	30					
	歌志内市	0		泊村	33		(渡島計)	945		遠別町	5		清水町	36					
	深川市	76		神恵内村	10		江差町	64		天塩町	43		芽室町	65					
	南幌町	0		積丹町	17		上ノ国町	90		(留萌計)	165		中札内村	5					
	奈井江町	22		古平町	11		厚沢部町	54		稚内市	139		更別村	16					
	上砂川町	0		仁木町	24		乙部町	111		猿払村	18		大樹町	32					
	由仁町	37		余市町	64		せたな町	70		浜頓別町	20		広尾町	21					
	長沼町	61		赤井川村	66		奥尻町	32		中頓別町	8		幕別町	132					
	栗山町	37		(後志計)	804		今金町	59		枝幸町	71		池田町	58					
	月形町	8		室蘭市	36		(檜山計)	480		豊富町	16		豊頃町	52					
	知	浦臼町		48	胆振		苫小牧市	273		上川	旭川市		216	宗谷	礼文町	55	釧路	本別町	99
		新十津川		15			登別市	33			士別市		47		利尻町	11		足寄町	114
妹背牛町		4	伊達市	89		名寄市	150	利尻富士町	20		陸別町	55							
秩父別町		8	豊浦町	20		富良野市	141	幌延町	20		浦幌町	58							
雨竜町		5	洞爺湖町	15		鷹栖町	28	(宗谷計)	378		(十勝計)	1,103							
北竜町		10	壮瞥町	1		東神楽町	25	網走市	168		釧路市	136							
沼田町		6	白老町	44		当麻町	18	北見市	470		釧路町	76							
(空知計)		560	安平町	78		比布町	22	紋別市	67		厚岸町	90							
石狩		札幌市	534	日高		厚真町	136	川	愛別町		23	オホshima	大空町		65	根室		浜中町	121
		江別市	142			むかわ町	101		上川町		23		美幌町		128			標茶町	208
	千歳市	288	(胆振計)		826	東川町	23		津別町	64	弟子屈町		50						
	恵庭市	127	日高町		132	美瑛町	43		斜里町	364	鶴居村		73						
	北広島市	59	平取町		127	上富良野町	37		清里町	35	白糠町		31						
	石狩市	220	新冠町		43	中富良野町	35		小清水町	42	(釧路計)		785						
	当別町	18	新ひだか町		153	南富良野町	25		訓子府町	267	根室市		306						
	新篠津村	2	浦河町		58	占冠村	11		置戸町	104	別海町		89						
	(石狩計)	1,390	様似町		28	和寒町	36		佐呂間町	38	中標津町		66						
	後志	小樽市	102		渡島	えりも町	67		川	剣淵町	30		ク	遠軽町	220		室	標津町	191
島牧村		24	(日高計)	608		下川町	69	湧別町		55	羅臼町	79							
寿都町		43	函館市	321		美深町	42	滝上町		15	(根室計)	731							
黒松内町		51	松前町	122		音威子府村	10	興部町		39	計 12,052								
蘭越町		48	福島町	33		中川町	10	西興部村		14	(前年比 58 箇所増)								

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」をご覧ください。

→<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 25 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	319	
平成 25 年度北海道実施の所在調査	91	13,982.072
平成 25 年度北海道実施の試掘調査	56	169.756

(3) 平成 25 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査		管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積		件数	面積	件数	面積
空知	14	3,031.230	3	11.707	上川	15	5,300.100	2	4.720
石狩	2	206.320	8	47.843	留萌	2	8.382	4	8.775
後志	6	206.012	2	3.680	宗谷	5	936.251	3	4.610
胆振	7	288.662	10	49.835	ホーツ	7	1,982.830	12	19.237
日高	1	0.100	2	2.293	十勝	23	1,760.444	4	7.964
渡島	6	10.621	5	9.026	釧路	2	6.120	0	0.000
檜山	1	245.000	0	0.000	根室	0	0.000	1	0.066

(4) 平成 25 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積
空知	2	1,161 m ²
石狩	15	18,980 m ²
後志	2	3,056 m ²
胆振	18	45,137 m ²
日高	1	974 m ²
渡島	15	26,601 m ²
檜山	0	—

管内	件数	調査面積
上川	1	1,000 m ²
留萌	0	—
宗谷	4	3,024 m ²
ホーツ	22	4,161 m ²
十勝	2	113 m ²
釧路	2	6 m ²
根室	1	219 m ²
合計	85	104,432 m ²

・平成 25 度の発掘調査の概要→

<http://www.dokyo.i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h25hakkutsu-gaiyou.htm>

(5) 平成 25 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	4	32	7	0	43
法第 94 条	0	28	58	14	0	100

※北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(6) 平成 25 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳 (指示事項別)					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

※北海道教育委員会に届出等のあったものです。

(7) 平成 25 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道教育委員会	68	1	69	1,475 箱
政令市・中核市	0	17	17	222 箱

(8) 平成 25 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	24	68	1,832 箱

※箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画 平成25年3月）

基本目標5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向11 文化・芸術活動の推進

施策項目36 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するためには欠かせないものであり、道民の共有財産です。これらの文化財は高齢化や少子高齢化など時代の推移により、保存や伝承が困難となっているものもことから、次の世代に確実に守り伝えていくことが重要な課題です。

このような中、文化財の保存・活用や、アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動、世界遺産登録に向けた北東北3県と連携した取組などの推進を図ってきました。

このうち、「世界遺産登録に向けた取組」では、内浦湾沿岸の縄文遺跡群が「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」として、ユネスコの世界遺産暫定リストに記載されたところであり、今後は、関係自治体と連携し、推薦書案の作成や国際会議を実施するなど、登録に向けた取組を積極的に推進していく必要があります。

先人が大切に守り継いできた貴重な文化財の数々を次の世代に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの責任であり、今後とも、多くの人々が文化財の素晴らしさを知り、保護の大切さを学び、共通理解のもと、将来にわたって継承していく環境の整備に努めていく必要があります。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を重点に推進します。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に取り組みます。

● 施策の対応方向及び主な取組

施策の対応方向	主な取組
■ 文化財の調査・保存・活用の推進 ① 有形・無形の文化財、史跡・名勝・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。	・ 未指定文化財の調査 ・ 文化財の指定・登録の推進 ・ 文化財の現状把握 ・ 文化財の保存整備
■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 ① アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた霧か草知恵や経験は貴重な財産と考えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組みるとともに、保存・伝承活動を推進します。	・ アイヌ民俗文化財調査や翻訳の推進 ・ 伝承者の養成や地域住民の理解促進のための講座の実施
■ 世界遺産登録に向けた取組の推進 ① 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模野穴住居群群吾人部共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けた取組を推進します。	・ 4道県（北海道・青森・秋田・岩手）共同での国際的合意形成に向けた国際会議の実施
■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ① 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。	・ 北海道文化財保護推進月間 [※] における文化財公開等の促進 ・ 小・中学生向けのニュースレターの発行

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H23 312件	H29 330件
文化財の保存・活用への取組状況	北海道文化財保護強調月間(10月8日～11月7日)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合	H24 31.1%	H29 50%
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H23 2,434人	H29 2,500人

(2) 平成 25 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

・申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課文化財保護グループ

直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成 25 年度は次のとおり開催しました

開催年月日	時 間	場 所	審 議 内 容
平成 25 年 9 月 5 日(木)	13 : 30 ～16 : 00	かでの 2・7 550 会議室	・文化財指定・登録の状況について ・文化財の指定・登録に向けた取組について
平成 26 年 3 月 10 日(月)	14 : 00 ～16 : 30	北海道庁別館西棟 3 階 1 号会議室	・文化財指定・登録の状況について ・「入江貝塚出土品」の有形文化財の指定について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧

(平成 26 年 3 月 31 日現在 任期：平成 24 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日)

氏 名	所 属 等
乾 淑 子	東海大学教授
岩 澤 孝 子	北海道教育大学准教授 (岩見沢校)
臼 杵 勲	札幌学院大学教授
大 原 雅	北海道大学大学院教授
大 原 昌 宏	北海道大学総合博物館教授
小 栗 祐 美	北海道教育大学教授 (函館校)
小 杉 康	北海道大学大学院教授
駒 木 定 正	北海道職業能力開発大学校特任教授
澤 村 寛	足寄動物化石博物館館長
土 屋 周 三	元小樽市総合博物館館長
中 村 和 之	函館工業高等専門学校教授
早矢仕 有 子	札幌大学教授

本 田 優 子	札幌大学副学長
是 川 聡 一	北海道開発局開発監理部長
平 野 均一郎	北海道森林管理局計画保全部長

・北海道文化財保護審議会について→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 25 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 25 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 25 年 6 月 25 日 (火)	10 : 30～15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 25 年 8 月 30 日 (金)	10 : 30～15 : 00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室 (旭川市永山 6 条 19 丁目)
平成 25 年 11 月 26 日 (火)	10 : 30～15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)
平成 26 年 2 月 14 日 (金)	10 : 30～15 : 00	道庁別館地下 1 階大会議室 (札幌市中央区北 3 条西 7 丁目)

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員

(平成 26 年 3 月 31 日現在 任期 : 平成 25 年 6 月 6 日～平成 26 年 3 月 31 日)

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
伊 藤 寛	旭川(8 月)、札幌(2 月)
川 合 喜與文	札幌(11 月、2 月)
梶 睦	札幌(6 月、11 月、2 月)
野 波 明 利	札幌(6 月)、旭川(8 月)
石 井 利 明	札幌(6 月、11 月)

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

① 入館者

平成 25 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	1201	1359	1360	1590	1809	1242	1382	714	411	603	524	622	12, 817

② 資料等の閲覧・貸出等件数

平成 25 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	6	9	8	9	10	11	7	7	11	4	6	9	97

③ 事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 24 年度発掘調査報告会	平成 25 年 4 月 20 日	116 人

	夏季講演会	平成 25 年 7 月 20 日	63 人
	秋季講演会	平成 25 年 9 月 14 日	65 人
考古学教室	展示室資料ミニミニ解説	平成 25 年 4 月 27 日	11 人
	ものづくりの考古学 1. ガラス玉	平成 25 年 6 月 15 日	16 人
	はじめての考古学 1. 旧石器文化	平成 25 年 7 月 6 日	38 人
	はじめての考古学 2. 縄文文化	平成 25 年 8 月 10 日	40 人
	ものづくりの考古学 2. 石器	平成 25 年 11 月 9 日	12 人
こども考古学教室	親子ガラス玉づくり教室	平成 25 年 6 月 22 日	18 人
	夏休み自由研究教室(第 1 次)	平成 25 年 7 月 27 日	7 人
	夏休み自由研究教室(第 2 次)	平成 25 年 8 月 3 日	19 人
	冬休み自由研究教室(第 3 次)	平成 26 年 1 月 4 日	32 人
	冬休み自由研究教室(第 4 次)	平成 26 年 1 月 11 日	17 人
研修会	平成 25 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 25 年 9 月 5 日	21 人

④ 平成 25 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 24 年度発掘調査成果展	平成 25 年 3 月 30 日～6 月 23 日
2	縄文人に挑戦ー見る、触れる、つくる、縄文 生活体験ひろばー展	平成 25 年 6 月 29 日～10 月 14 日
3	「北海道遺跡百選 6 ー千歳古砂丘周辺の旧石器遺跡群ー」展	平成 25 年 10 月 26 日～26 年 3 月 2 日
4	(公財)北海道埋蔵文化財センター 平成 25 年度発掘調査成果展	平成 26 年 3 月 29 日～6 月 15 日

⑤ 平成 25 年度考古学教室出前講座一覧

[事業分]

市町村	実施場所	実施日	参加人数
小樽市	小樽市立手宮西小学校	平成 25 年 6 月 28 日	23 名
蘭越町	蘭越町民センター	平成 25 年 6 月 29 日	50 名
京極町	京極町湧学館	平成 25 年 7 月 31 日	15 名
斜里町	斜里町立知床博物館	平成 25 年 8 月 4 日	20 名
知内町	知内町郷土資料館	平成 25 年 9 月 7 日	19 名
長万部町	長万部町福祉センター・町民センター	平成 25 年 10 月 5 日	28 名
津別町	津別町中央公民館	平成 25 年 11 月 16 日	15 名
士別市	士別市博物館	平成 25 年 11 月 22 日	19 名

(7) 文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (年 4 回更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kitanoisekiannai.htm
出土文化財を 見ることのできる 主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 5 回程度発行しています。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 24 年度北海道文化財年報	平成 25 年 7 月 4 日	平成 24 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/24bunkazai-nenpo.htm
平成 25 年度文化財保護強調月間	平成 25 年 9 月 26 日	北海道文化財強調月間 (10 月 8 日～11 月 7 日) 期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/kyoutyougekkann.htm
市町村における発掘調査の概要(平成 25 年度版)	平成 26 年 3 月 28 日～	平成 25 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/h25hakkutsu-gaiyou.htm
もっと知ろう身近な文化財(指定文化財概要一覧)	平成 21 年 12 月 16 日～ (随時更新)	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介しています。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/shiteibunnkazai.joho.htm

「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
	URL : http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bnh/wh.htm	

(8) 文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部局くらし安全局 文化・スポーツ課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/bns/index.htm
3	公益財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaiibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://hokkaido-bunkazai.jp/